

様式第5号の2(第5条関係)

支出明細書

( 調査研究費 )

調査目的	九州・沖縄防衛議員連盟連絡協議会総会及び航空那覇基地視察
調査地	航空自衛隊那覇基地
調査年月日	令和元年 8 月 26 日～ 令和元年 8 月 26 日 ( 宿泊の有無 有 )
調査結果	総会・役員選任および議案審議・次期開催県大分県の採択。 防衛講話演題「南西諸島を取り巻く安全保障環境」を司令官空将 鈴木靖彦氏より講話。那覇基地の重要な位置づけと近年の中・ロ へのスクランブル発進が年間400回を超え、安全保障環境を説明 された。脅威が増していることは間違いない。国民として平和と 安全保障を守る自衛隊に感謝と理解をする研修視察であった。
経 費 明 細 書	
旅 費	51,370円
そ の 他	
合 計	51,370円

(注) 1調査1枚作成する。

様式第5号の2(第5条関係)

支出明細書

(調査研究費)

調査目的	沖縄県宜野湾市と普天間米軍基地との概要、辺野古の現地視察。
調査地	沖縄県宜野湾市普天間米軍基地周辺
調査年月日	令和元年 8 月 27日～ 令和元年 8 月 27 日 (宿泊の有無 有・)
調査結果	宜野湾市長、議長へ表敬訪問し普天間基地に隣接する庁舎始め公共施設の概要、戦後70年以上の長期間航空機事故との危険性、騒音被害等市民生活環境に大きな負担を強いていること、効率的なまちづくりを進めるうえで阻害要因となっている。しかし在日米軍の拠点、昼夜オスプレイ等58機が訓練を行なう。市民への危険性・騒音被害を見聞き平和と安全の確保は基地を抱える市の防衛負担の重さを強く感じるが住民と米軍基地との交流は友好関係と辺野古では説明を受けた。佐賀空港への自衛隊オスプレイ共同運用は国民の安全保障環境をつくるには理解する。
経 費 明 細 書	
旅 費	「九州・沖縄防衛議員連盟連絡協議会総会及び航空那覇基地視察」に同じ
そ の 他	
合 計	

(注) 1調査1枚作成する。

様式第5号の2(第5条関係)

支出明細書

(調査研究費)

調査目的	沖縄県名護市、辺野古埋立て問題の現地視察。
調査地	沖縄県名護市辺野古キャンプシュワブゲート前
調査年月日	令和元年 8 月 27日～ 令和元年 8 月 27 日 (宿泊の有無 有・)
調査結果	午後、名護市議会議員 宮城安秀氏より普天間飛行場代替施設建設事業の概要説明を受ける。普天間飛行場の機能・役割の一つ、オスプレイの運用機能だけをキャンプシュワブに移転し、普天間基地の規模・配備機数など基地負担軽減に資すると説明された。「辺野古埋立地問題」に疑問を呈する宮城市議は、地元住民と反対運動派とのトラブルの問題点、また地元住民と米軍キャンプとの地元交流の経緯も説明を受けた。世界が平和になれば、おのずと基地は不要になる、～基地跡地に未来を～、沖縄の人々の心を感じる研修視察でした。お世話頂いた関係各位に感謝します。
経 費 明 細 書	
旅 費	「九州・沖縄防衛議員連盟連絡協議会総会及び航空那覇基地視察」に同じ
そ の 他	
合 計	

(注) 1調査1枚作成する。

用途項目	調査研究 費	整理番号	調査 1-1
内容	①第14回九州・沖縄防衛議員連盟連絡協議会総会及び航空自衛隊那覇基地現地視察防衛講話 演題 「南西諸島を取り巻く安全保障環境」 ②普天間基地の概要について ③辺野古埋め立て問題について		
領収書等貼付欄			

※旅費は、嬉野市職員等の旅費に関する条例に基づき算出された額を支給。

No 242622 領 収 書


収 入  
印 紙

山口虎太郎 様

金額	48620	2019年8月20日
----	-------	------------

	月 日	摘 要	数 量	単 価	金 額
内	8/28	航空券	1	43850	43850
	/	レンタカー		4770	4770
訳	/				
	/				
	/				
			計		48620

上記の通り領収致しました。



国内・海外旅行総合会社  
 本社 佐賀県鹿島市大字海津原473番地の1 (0954)631151  
**拓徳旅行株式会社**

取扱  
者印 